

日立ソリューションズ・クリエイト

102

働き方改革

日立ソリューションズ・クリエイト（東京都品川区、竹田広光社長）は、人事総務ならぬ「人事創夢本部」を中心に働き方改革を進める。従業員が夢を持ち、その夢を実現できる夢のある会社でありたいという企業理念を込めた組織名だ。従業員とその家族の幸福と企業成長の両立を目指す。同時に新型コロナウイルス感染症拡大に対応する働き方実現も進めている。

（横浜・市野創士）

日立ソリューションズ・クリエイトは2016年に働き方改革を推進するため、システムと制度を整理。グループの日立ソリューションズ（東京都品川区）が開発した人事総合ソリューション「リシテア」を活用し、全社労働・残業時間の見える化を実現した。社内での各種方針の共有はもちろん、働き方改革の取り組みを説明する手紙を従業員の家族に郵送して周知し

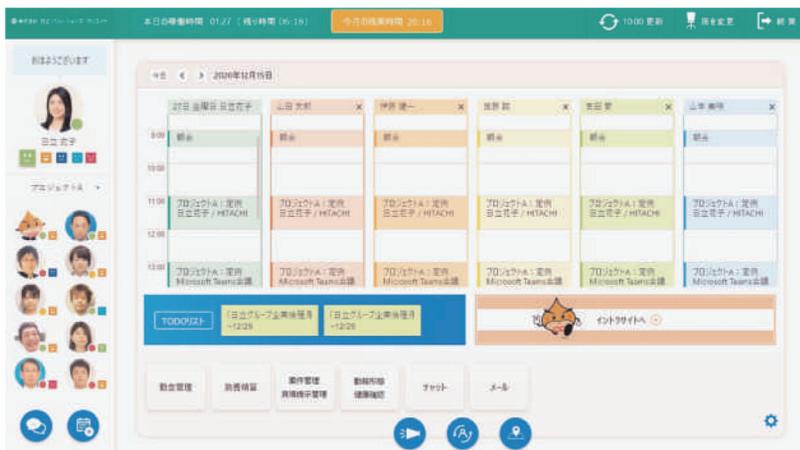
一連の取り組みにより19年度は平均残業時間が15年度比34%減、1200人近い月80時間以上の残業者数が1人となった。一方で、営業利益は60%増と収益性の向上と働き方改革を両立する結果を得ることができた。在宅・サテライトオ

人事「創夢」改革けん引

仮想オフィスで効率アップ



① オフィスを再現する仮想オフィスの「360度パノラマビュー」画面
 ② 仮想オフィスでデスク機能を再現する「ワークボード」画面
 （ともに日立ソリューションズ・クリエイト提供）



仮想オフィスはオフィスフロアを再現する「360度パノラマビュー」と自分のデスク機能を再現する「ワークボード」の2画面で構成。利用中のメンバー写真の表示で空間を共有する認識が生み出され、他のオンラインツールとの連動でメンバーの状況を見える化し、手軽にチャット・通話ができる。利用頻度の高い社内システムもすぐ起動でき、利便性が高い。実証実験の結果を踏まえ全社導入を検討している。

20年には「ニューノーマル推進グループ」も発足した。同グループにも所属する中村副本部長は「部署横断の組織でアイデア実現に向け各部署から加入を募り拡大している」と、全社的な働き方改革を加速する。企業・従業員双方の幸福度を向上する取り組みを推進していく。

仮想オフィスはオフィスフロアを再現する「360度パノラマビュー」と自分のデスク機能を再現する「ワークボード」の2画面で構成。利用中のメンバー写真の表示で空間を共有する認識が生み出され、他のオンラインツールとの連動でメンバーの状況を見える化し、手軽にチャット・通話ができる。利用頻度の高い社内システムもすぐ起動でき、利便性が高い。実証実験の結果を踏まえ全社導入を検討している。

20年には「ニューノーマル推進グループ」も発足した。同グループにも所属する中村副本部長は「部署横断の組織でアイデア実現に向け各部署から加入を募り拡大している」と、全社的な働き方改革を加速する。企業・従業員双方の幸福度を向上する取り組みを推進していく。